

大変納得できるご提案であると思えます。去る6月11日の「青少年を育てる会」では、成人の方7名と中学生2名を表彰させていただきました。その中で、中学生は「人道賞」として表彰させていただいています。

今回の受賞の内容は、人権創作劇の発表の中心となつて活動し、杉原千畝氏の人道の心を町内外に広める原動力となつたり、相手を大切にする挨拶運動などの取り組みにリーダーシップを発揮したということです。「人道賞」を青少年に限つたのは、八百津町の未来を担うのは青少年であり、小中学生に思いやりの心などを一層浸透させたいと考えたからです。



青少年を育てる会(6/11)

人道精神は、杉原千畝氏を象徴する精神であり、現在、そして将来に向けて、子どもたちがだけでなく、町民一人ひとりが主体的に守り、引き継いで行く重要な精神であると考えています。

議員ご指摘の「この賞は大変重い賞であるため、誰もが認める素晴らしい業績があつたら表彰してほしい」ということですが、今後さらなる卓越した業績の方に對して、「人道大賞」の設置を検討する働きかけを青少年育成町民会議にしていきたいと思つています。

Q2 「新しい街づくり」について

登録記念事業の計画は

問 杉原千畝氏の世界の記憶登録記念行事として、八百津町の一部を「センポ杉原通り」と命名し、そこでもろもろのイベントを計画し、町をにぎやかに活性化してはどうか。

例えば、町の商店の方々に協力していただいて、煎餅まつり、春秋のお菓子まつり、新酒お酒まつり、松茸御飯まつり、神社前の広場で、街角コンサート、大道芸大会、落語大会、空き家を利用しての展示会等を開催し、年間の事業計画を立てて町をにぎやかにしてはどうか。

杉原通りの命名については、

将来のことを考えると私も大変心配をしている。リトアニアでは、首都ヴィリニウス市内に「スギハラ通り」があり、ネリス川沿いに祈念碑が建立され、桜の苗木が植樹されて、「杉原桜公園」と呼ばれている。中世の面影を残す首都ヴィリニウスの町並みは、ユネスコ世界遺産に登録されている。

また、名古屋市では、昨年11月に杉原千畝氏が通学した4・5キロの道を「杉原千畝 人道の道」として整備したと伝えており、敦賀市も杉原通りを設けて顕彰している。私も八百津町の町並みの将来を考えると心配だが、ほかの所を参考にして、十分検討して欲しいと思うが考えを伺う。

答

(永田地域振興課長)

今年度、杉原千畝氏の「世界の記憶」登録や再生可能エネルギービジョンの展開、新丸山ダム建設事業等、八百津町が目され、来町される方も多くなると考えられます。

その際のお客様が「訪れて良かった」、「魅力的な町だった」、「もう一度八百津町にきたい」と言っていただけのような町にして行きたいと考えています。その第一歩として、今年度取り組んでいる事業が「まちなかにぎわい創出事業」です。

議員が提案されている、空き家を利用した店舗づくり、そ

こを活用してイベントやワークショップを展開していきます。リノベーションした店舗を起点として、交流人口を生み、商店街の活性化につなげ、2号店、3号店へと発展していくように現在取り組んでいます。

また、煎餅まつり・新酒まつり、街角コンサート等についても、今後、町民と協力しながら検討し、進めていきたいと思つています。

「センポ杉原通り」の命名につきましては、今後の課題とさせていただきます。

Q3 「認知症」の予防対策について

対策と今後については

問 2月、NHK放送で認知症の報道があり、高齢者の認知症の割合は現在10分の1であるが、2025年にはその割合が10分の4に増大し、将来社会問題化すると警告していた。しかし、色々な予防策があり、解決できるとも言われており、5月7日のテレビ愛知では、認知症は予防できると放送されていた。

また、可児市では、認知症予防教室を昨年11月から18回開催し、効果を上げたと伝えている。

町は、現在認知症の予防について、どんなことをしているの

か。そして、今後どんな対策をしていくのか伺う。

答

(藤本健康福祉課長)

社会の高齢化にあわせ、認知症の方の割合は増加しており、当町にとってもその予防策は重要な課題だと認識しています。

そうしたことから、地域包括支援センターでは、認知症予防を含めた介護予防対策として様々な取り組みを行っているところです。

専門の方の講話を聞いて介護予防について学んだり、実技や軽体操、音読、貼り絵などを行う「お元気サロン」、いつまでも自分のことは自分でできる体力と脳力の推進向上をはかる「体力脳力向上教室」、トレーニング機器を利用して、日常生活に必要な筋力・バランスを鍛える「らく楽トレーニング教室」、心の健康に関すること、物忘れが気になるなど、何でも相談が受けられる「こころの相談」、日常生活上の相談や介護保険の利用について、各地区へ定期的な巡回し、相談会場、またはご自宅へ職員が訪問する「高齢者あんしん相談会」、お申し込みいただいたグループの集まりに職員が出向き、健康・予防・体力づくりなどの話や体操を行う「おでかけ健康講座」などを開催しています。

また、認知症に特化した事業